



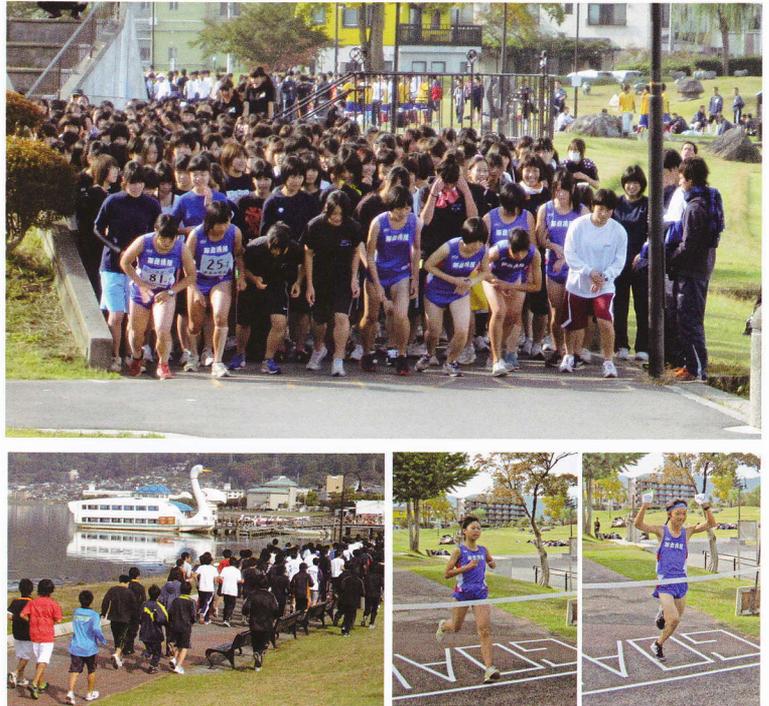
端艇大会 (9月5日)

9月5日 下諏訪漕艇場において、端艇大会(ボート競技クラスマッチ)が行われました。
各クラスから男子ナックル1クルー・女子ナックル1クルー・混成ナックル2クルーの4チームを選出して、500mの直線コースでタイムを競いました。
総合順位 1位 2年2部 2位 3年6部
3位 2年3部



完走!! 湖周マラソン

第98回湖周マラソンが10月20日に行われました。好天に恵まれ、出走者全員が19.4kmのコースを完走することができました。



2年研修旅行 (11月8日～11日) 京都・奈良・広島へ

震災のあった今年、僕たちは京都・奈良の他に広島にも足を運びました。広島へ行くことは1年の夏ごろのアンケートで決まったことで、どんな言葉を選べばよいかわからないのですが、原子力が話題になってしまった年に、世界で初めて原子力の被害を受けた広島へ行ってきました。

清陵では修学旅行ではなく、研修旅行といい、目的の1番は「学習」にあるのですが4日間とても楽しむこともできました。普段は日中に共に過ごすだけだった友達とも4日間ずっと一緒にいることで、違った一面を見ることができ、より一層仲が深まったと思います。もちろん「学習」が主なので旅行の半年前から、放射能について調べたり、寺院の造りや歴史、どのような交通手段で古都を巡るのかを班別で考えたりしたことが、現地を訪ねての感動や心の変化に繋がったと思います。

長いようであつという間だった4日間で私たちが得たものは、その時間よりも価値のある、これからの私たちの力となってくれるもので詰まっていると思います。

研修旅行委員長 太田 恵輔



広島平和記念公園



室生寺にて

これからの行事予定

1月	11日～13日	第4回定期考査
2月	19日	課題探究発表会
	28日～2日	第5回定期考査
3月	3日	卒業式
	7日	後期選抜
	12日～17日	SSH 海外科学セミナー
	23日	終業式

未来を担う科学技術系人材育成のために先進的な理科教育を行う文部科学省の指定校です。

本校は平成 14 年度に指定され、今年で 10 年目 (第 3 期 2 年目) を迎えました。

「科学の甲子園」 県大会優勝！ (8月7日諏訪東京理科大学にて)



2年生6人のチーム(藤森雄也、二村成彦、中島徳雅、高橋亮太、三澤信之、石城陽太)が、「第1回信州サイエンステクノロジーコンテスト」(8月7日、諏訪東京理科大学)で優勝し、平成24年3月に兵庫県西宮市で開かれる「科学の甲子園・第1回全国大会」への出場を決めました。

「科学の甲子園」は独立行政法人科学技術振興機構が今年度初めて、全国の高校生を対象に実施したもので、県予選となった同コンテストには、県内9高校から9チームが参加。理科(物理・化学・生物・地学)と数学、情報の6科目から出題される筆記課題、実験課題に取り組みました。

清陵高チームは、一人ひとり担当科目を決めて集中的に学習して準備し、コンテストに臨みました。本番では得意な分野の問題を各自分担して解きました。

リーダーの藤森君は「難しい問題ばかりだったけど、わかる問題から焦らずに解いたのがよかった」と勝因を分析。「優勝できるとは思わなかったので、すごくうれしい」と県予選突破を喜び、「全国大会では、県代表として恥じない点数を取り、できれば上位に入れるように頑張りたい」と全国大会に向けて抱負を話しています。

SSH全国大会 (8月10・11・12日神戸国際展示場)

8月10日から3日間、SSH生徒研究発表会がありました。本校からは「おいしい高野豆腐をめざして(3)」(田中望羽・宮澤絢子)を出品し、好評を博していました。



遺伝子操作体験実習

7月20、21日および8月8、9日の四日間にわたり遺伝子操作体験実習を本校生物室と信州大学ヒト環境科学研究支援センター遺伝子部門(信州大学繊維学部構内)において実施しました。



科学英語入門

SSH「科学英語入門」が、9月16日(金)午後・本校物理教室で行われました。

参加者はOBや一般の方も含めて約40名で、東京大学で素粒子の研究をされているドイツ出身のヨハネス・シュムード氏をお迎えし、「摂動理論と素粒子物理」という題目で、クォークやグルーオンなどについて英語で講義を受けました。



半導体の仕組み (10月18日 本校にて)



セイコーエプソン(株)コア技術開発センターの加藤樹里氏による科学セミナー「半導体の仕組み」が10月18日(火)、本校物理教室で行われました。



卒業生の言葉

今年度卒業生から清陵の思い出、大学生活の様子などを聞かせてもらいました。

東京大学 理科一類
大内春菜



こんにちは。大学生活がもう半年過ぎました。早いものでもう半年たつと20歳になってしまいます。怖いですねー。

さて、思ったこととしては、大学の勉強は予想以上に大変ということ。難しいし周りにはよくできるし。東大は進振りのために大学に入っても点数勝負なので頑張らなくてははいけません。しかし私は割と文系科目を多くとっていて、これがものすごく楽しい。美術論とかフランス文学とか。だから文転もありだなあなどと思いつつ幅広く将来について検討中です。

あとはOBの先輩方や友達の友達など、浅く広くとはいえ本当にたくさんの人と関わることかな。様々な出身、立場の人とお話することは楽しいし勉強になります。長野県出身者は一人しか見つけられていませんが…。でも高校のときのよう濃い関係を作ることにはなかなか難しいです。清陵祭や部活、学友会でできる友達って素晴らしいと思います。せっかくの高校生活、皆さんもいろいろと挑戦してみてください！他にもバイトやサークルに自炊などなかなか充実しています。一人暮らしとしても楽しいですよ。ホームシックになって何度も帰省してしまいますけど。地元の良さを再認識しました。

最後に、3年生は受験目前ですが焦らず頑張ってください。応援しています！2年生も高校生活楽しんでくださいね。

東北大学 法学部法学科
高嶋健人



仙台での大学生活は、三月の震災の影響で一ヶ月遅れで始まりました。また、節電のため夏の大学は蒸し暑かったです。しかし、現在では地震は起きておらず放射能の影響は今の所なく、無事に生活しています。

大学の講義では専門科目もやっておりますが、一年のうち一般教養科目の授業が多いです。一般教養では幅広い分野から好きな科目を選択でき、大学の自由さを感じます。大学での試験は正答がなく、自分の考えを書く論述式や教材持ち込み可のものやレポートのものもあり、高校の試験とかなり違い、授業で得た知識の応用力が試されます。

高校時代は将棋部で一応部長だった位で地味な幽霊みたいな存在でしたが、湖周マラソンや研修旅行といった行事を楽しめ、いい三年間を過ごせました。たまに校歌のメロディや自反而縮——が頭に浮かんでくることもあり、自分も清陵生なのだなと感じます。

受験勉強の際は東北大学の赤本・後期用の小論文教材以外は買わずに清陵で配られた教材・模試を使うなど非常に清陵にはお世話になりました。高三の長い受験勉強から、何かをやる時は根気強くやるのが大事だと学びました。しかし、同時に気分に任せ、ストレスなく無理せず自分の好きなことも続けながらマイペースにやるのも大事だと学びました。

みなさんも自分の好きなことをして充実した高校生活を楽しんで下さい。

1 学年進路係より

1 学年前期の学習目標として、国語・数学・英語の3教科を中心に基礎学力を養うことに努めてきました。特に、入学当初は家庭学習の取り組み方や学習法を経験するため、学習オリエンテーションを外部施設で実施しました。

また、夏休み後からLHRなどを使って文理選択についての学習を進めています。各自の文理の適性から大学・学部・学科調べまで様々な資料をもとに自身で文理の方向を模索しているところです。進路指導係が8月に実施した大学見学会(主に2年生)に参加して実際に大学を見学してきた生徒もいました。11月の土曜講座では学部・学科説明会を計画し、教育(筑波大・信大)、外国語・国際教養(東外大)、政治・経済(早大)、医療・看護(信大)、工学(名工大)、人文(都留文大)、法(新潟大)、経済・経営(高崎経済大)、物理・化学(筑波大)、農・生物(東北大)の11の分科会を用意して、様々な分野の大学の先生に来ていただいて大学の模擬授業、学部学科の説明や進路実現のためのアドバイスをさせていただきました。生徒たちも熱心に受講し、また、質問をして各自の疑問点の解消に努めました。清陵では2年次より文系と理系にコースが分かれるため、いよいよ自分の進む道を真剣に考える時期になってきました。1 学年としては生徒との個別面談や保護者面談を実施し、本人・保護者・担任で文理選択に向けて、また進路に向けての考え方を共有しながら生徒の進路実現に近付けていきます。学習面においては、この秋からの後期は「学ぶ」ことの意味を主体的に受け止め、自ら積極的に学習に取り組む姿勢を目指していきます。



学部・学科説明会



学友会コーナー

生徒活動紹介のコーナーです

全国大会出場!! 報告

端艇部

端艇部
インターハイにて

第9回全日本ジュニアボート選手権 (6月9日～12日)
熊本県菊池市班蛇口湖ボート場

男子 シングルスカル 後藤貴央 8:05:43
シングルスカル 河西裕紀 8:46:21
女子 シングルスカル 藤森まいこ 9:07:37

平成23年度全国高等学校総合体育大会 (8月5日～8月9日)
岩手県花巻市田瀬湖ボート場

シングルスカル 笠原美瞳 準々決勝4位 4:26:06
ダブルスカル (駒形・土田) 準々決勝3位 3:28:98
女子クオドルプル (高原・有賀・藤森・関・大槻) 準決勝6位 3:39:73 ベスト12位
男子クオドルプル (山崎・伊藤・後藤・河西・酒井) 準決勝6位 3:13:47 ベスト12位

かるた部

第33回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 (7月23日)
団体戦 予選トーナメント2位 ベスト16
第35回全国高等学校総合文化祭 (8月4日～6日) 福島県会津若松市
(長野県選抜チームに清陵より3名が選抜されました)
長野県選抜チーム 団体戦 ベスト16

古典ギター部

第41回全国高校ギター・マンドリンフェスティバル (7月28日) 大阪府吹田市文化会館
スペイン大使賞・3年連続優秀賞・10年連続出場賞

美

術部

高校生・中学生クリエイターコンテスト2011
優秀賞 小口 歩美 電波学園賞 漆原さくら 佳作賞 今井和歌奈
デッサン甲子園
個人戦 大賞 漆原さくら 団体戦 準大賞 漆原さくら・村上由芙・北村佳菜

クラブ紹介 25 サッカー部

こんにちは。サッカー部です。

私たちサッカー部は、毎日放課後に加えて、休日にも練習を行っています。年間を通して大会や公式戦が多くあり、主に高校総体・選手権大会・新人戦・リーグ戦(県二部)などに出場しています。

部内では学年の壁を越えて声をかけ合い、指揃し合い、それを練習や試合に生かして、仲間として、また良きライバルとして切磋琢磨しています。今年は、春の総体県大会でベスト16、冬の選手権でも県ベスト16と、県の上位を狙える力をつけてきました。

雨にも負けず、風にも負けず、夏の暑さにも負けず、冬の寒さにも負けず、そして自分にも負けずに、さらなる高みを目指しながら日々努力し続けています。

文責；サッカー部マネージャー (小熊麻綸 唐澤陽果 五味伽織 溝口咲花)



■発行・編集 長野県諏訪清陵高等学校 教務係

〒392-8548 長野県諏訪市清水 1-10-1 TEL. 0266-52-0201 FAX. 0266-57-2426

<http://www.nagano-c.ed.jp/seiryohs/> e-mail:seiryohs@nagano-c.ed.jp